

第16回 荒川区地域公共交通会議

議事要旨

日時：令和5年5月12日（金）10：00～12：00

場所：荒川区役所分庁舎4階会議室

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) デマンド交通の実証実験実施について
 - (2) その他
3. 閉 会

(配布資料)

- 資料1 デマンド交通の実証実験実施について
- 資料2 荒川区地域公共交通会議設置要綱・委員名簿

1．開会

- ・防災都市づくり部長挨拶
- ・会長挨拶
- ・配布資料の確認

2．議事

報告事項 デマンド交通の実証実験実施について

<会長>

報告事項について、事務局からの説明をお願いしたい。

<事務局>

事務局から説明

質疑応答

<委員>

今回の実証実験は、道路運送法の第21条の乗合の許可という認識でよいか。

<事務局>

そのとおりである。

<委員>

乗合の区域運行という形になるかと思うが、区が車を借り上げ、事業者に委託して運行するという方法もあったと思う。いくつかの選択肢を検討したのか。

<事務局>

運行方法については、他の自治体の事例を参考に検討し、今回は資料1のような運行方法での道路運送法の第21条許可が良いとの判断に至った。

<委員>

運送事業の許可が必要のない方法も検討したのか確認したくお伺いした。

<委員>

事業計画について、目的の部分に福祉的な交通手段とあるが、これは利用者の制限が生じるのか。それとも希望があればだれでも乗れるのか。

次に、地図には赤い範囲の中に乗降ポイントと書いてあるが、乗降ポイントのない場所でも乗り降りできるのか。

最後に、資料1の3で乗客数の1日当たりの平均が20人以上であれば本格運行へ移行とあるが、20人×300円でも1日の収入が6,000円程度にしかならない。引き続きこの事業内容で運行するのであれば、区が運行補助せざるを得ないのではないかと思うがいかがか。

<事務局>

まず1点目、だれでも乗れるかという点だが、だれでも乗れるとしている。ただし、区内在住の要件は設ける。

また、区域運行であり赤く囲んだ範囲内を運行できるよう申請をする予定である。乗降ポイントに

については、記載の場所のみでの乗降に限定している。

最後に運行補助については、まずは実証実験を通じて、利用人数や既存交通への影響、採算性、継続性を検討したいと考えている。

< 委員 >

乗降ポイントについて、警察署の確認を得ているのか。

< 事務局 >

所管している荒川警察署及び尾久警察署からは了解を得ており、今後、地先の方にも説明し、トラブルがないように進めていきたい。

< 委員 >

乗降ポイントは6箇所あるが、今後増やす予定はあるか。

< 事務局 >

アンケート等で増やして欲しいとのニーズがあれば検討するが、すぐに増やすことはない。

< 委員 >

実証実験の概算費用の中で運賃収入が200万とあるが、どのような計算で算出したのか。

< 事務局 >

1度に乗車可能な人数は最大でも4名であり、そのうち2名乗っていただいた場合を想定して算出している。

< 委員 >

一日40人くらい乗るという計算でよいか。

< 事務局 >

そのとおりである。

< 委員 >

他の同じようなことをやっている自治体の事例があるが、成功事例はあるか。

< 事務局 >

他の事例では、実証実験後に終了しているケースが多いように感じている。

< 委員 >

荒川区民の9割近くが区内の移動には、徒歩か自転車であると言われているので、多くの区民に使ってもらえるよう広く周知していただきたい。

< 会長 >

できるだけ多くの方にご利用いただけるよう、他の自治体の周知事例も調査しながら検討していただきたいが、区民への広報や周知はどのようにするのか。

< 事務局 >

運行する周辺の自治会への説明に加え、区のホームページやツイッター、SNS等で周知をしたいと考えている。

< 会長 >

実験期間中、3つの運行事業者ごとに電話予約の番号等は変わるか。

< 事務局 >

予約専用の電話番号を用意するので、運行事業者が変わっても電話番号は変わらない。

< 会長 >

予約がない場合、車両はどこかで待機するのか。

< 事務局 >

予約がなければ、待機場所で待機することになる。

< 会長 >

今回の実証実験後に本格運行となると良いと思うが、荒川区ではこれまで運行補助は行ってきていないので、今後の費用負担の考え方の整理が必要だと思う。

< 事務局 >

そういった点も含め、まずは実証実験を通じて利用実態や既存交通との差異を明らかにし、区の費用負担の考え方についても全庁的に考えていく。

< 会長 >

運行経費に900万円くらいかかるとすると、すべて満席でも運賃収入のみの黒字化は不可能と思うが。

< 事務局 >

今回の運行経費には、システム構築の初期投資も含まれている。また、電話のオペレーターの費用も入っている。今後、電話オペレーターが不要となれば、年間の経費も下げられる可能性がある。

< 運行事業者 >

当社は荒川区と全然関係のない事業者ではなく、区役所から5分もしないところに事業所を構えており、他の2社もここから自転車で10分程度のところに事業所を構え、地域密着でやってきた。タクシー会社には、バスや鉄道では対応できないお客様に対する役割があると考えている。今回運行する3社には、この事業で利益を上げようという考えはないが、最低限の運行費用、乗務員の賃金等は確保しないと運営できないので、区の負担があるものとしている。今回の運行についても、様々な努力をしてまいりたいと思うのでご理解の程よろしくお願いしたい。

< 運行事業者 >

成功事例について補足だが、残念ながら都内ではうまくいっている事例はないが、神奈川県京急富岡では成功している例もある。それには地域住民のご理解、ご協力があることが非常に大きいと思う。今回の運行では収支が気になるところだが、本格運行するためには地域の方のご理解、ご協力が本当に必要になってくると思う。我々事業者も他人事だとは思わず、事業者自身が発信していくことにも努めたいと思うので、ご理解いただきたい。

< 委員 >

経費の部分で、車両の借り上げ費とあるが、これは荒川区が借り上げる費用か。また、借り上げ費には人件費や燃料費とかが含まれるのか。

< 事務局 >

本会議には運送事業に詳しくない方も出席されているので、借り上げ費、人件費、燃料費などの表現を用いているが、実質はタクシーの時間制の運賃を計上しており、その中には当然、人件費や燃料費も含まれている。

< 運送事業者 >

運行にかかる経費について、区ともオープンにしていくこととしている。特に運行費用に関心があると思うが、タクシー業界は昨年11月から新しい運賃で運行しており、その中には時間制運賃と

いうものがある。初乗りでは1時間当たり5,360円としており、これを採用している。

< 委員 >

予約システムはどちらの会社か。

< 事務局 >

株式会社アイシンである。

< 会長 >

たくさんご意見をいただき、実験の内容もよく理解することができた。今回のデマンド交通実証実験の実施について、異議ないことでよいか。

< 委員 >

異議なし

< 会長 >

1点要望する。経過や本格運行の見込みなどについて、私や地域公共交通会議に報告するなどしっかりと情報共有しながら進めていただきたい。

議事は以上をもって終了する。

3. 閉会

第16回荒川区地域公共交通会議 出欠状況一覧

NO.	区 分		所 属	委 員 名	出 欠
1	学識経験者	会長	宇都宮大学 地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科 教授	大 森 宣 暁	本人出席
2	関係行政機関	国	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官	鎌 塚 俊 充	本人出席
3	道路管理者	東京都	東京都 建設局 第六建設事務所 管理課長	丸 友 文	欠席
4		荒川区	荒川区 防災都市づくり部 土木管理課長	諸 角 明 彦	本人出席
5		荒川区	荒川区 防災都市づくり部 基盤整備課長	大 木 浩	本人出席
6	交通管理者	警視庁	警視庁 交通部 管理官 交通規制課 調査担当	藤 平 忠 晴	本人出席
7			警視庁 荒川警察署 交通課長	田 島 博 史	欠席
8			警視庁 南千住警察署 交通課長	荒 金 昇 二	欠席
9			警視庁 尾久警察署 交通課長	大瀬戸 健 二	本人出席
10	運送事業者団体	事業者	一般社団法人 東京バス協会 専務理事	二井田 春 喜	代理人出席
11			一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 業務部長	小 池 毅	本人出席
12	一般乗合旅客自動車 運送事業者	事業者	東京都 交通局 自動車部 計画課長	若 田 瑞 穂	本人出席
13			京成バス株式会社 常務取締役	加 藤 浩 一	本人出席
14	一般乗用旅客自動車 運送事業者	事業者	社団法人 東京乗用旅客自動車協会 荒川区内事業者代表 (大日本自動車交通株式会社 代表取締役社長)	海 田 正 則	本人出席
15	一般旅客自動車運送事業者の 事業用自動車の運転者が組織 する団体	事業者	東京都交通運輸産業労働組合協議会 バス部会 幹事	志 村 雅 貴	本人出席
16	区 民	町会	荒川区町会連合会 会長	志 村 博	欠席
17		団体	NPO法人 荒川区高齢者クラブ連合会 副理事長	今 井 政 子	本人出席
18			荒川やさしい街づくりの会 代表	後 藤 俊 子	欠席
19	行政執行機関	荒川区	総務企画部長	小 林 直 彦	代理人出席
20			区民生活部長	阿 部 忠 資	本人出席
21			福祉部長	東 山 忠 史	本人出席
22			防災都市づくり部長	松 崎 保 昌	本人出席
23			防災都市づくり部参事 都市計画課長事務取扱	嶋 根 一 正	本人出席
事務局	荒川区	防災都市づくり部 土木担当部長	川 原 宏 一	本人出席	
		防災都市づくり部 都市計画課 交通計画担当係長	渡 辺 雅 人	本人出席	
		防災都市づくり部 都市計画課 交通計画担当	染 矢 由 貴	本人出席	
		防災都市づくり部 都市計画課 交通計画担当	伊 藤 彩 香	本人出席	